

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第6学年

【議題名】 学級活動(1)ウ 「姉妹学級との交流会で仲良くなろう」(5時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
学校生活をより豊かにする様々な集団での活動のよさを理解するとともに, そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。	他学年のことを考えながら, 創意工夫を生かした取組や提案について話し合っ合意形成を図り, 協力して実践することができる。

【主な学習活動と留意点】

前議題からのつながり: 学級内で役割分担を決め, みんなが協力して楽しむことができる学級レクレーションを企画した。今度は, 学級の枠を超えて姉妹学級と交流をしたい。

働かせる見方・考え方: 自己及び集団の問題を捉え, よりよい集団生活の構築に向けた実践に結びつけること。

段階	学習活動(時間)	留意点
議題の選定	問題の発見(1) ・どんな交流会にしたいかめあてを考える。	<p>「話し合いの充実」を図る学級会の事前の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ みんなが仲良くなるために, どういう交流会にすればよいか, 自分なりの考えをもって話し合いにのぞむ。
議題 姉妹学級と仲良くなるための交流会の内容を考えよう		
出し合う	解決方法等の話し合い(1) ・一人一人の思いや願いを大切にしながら, 「交流会の内容」について自分の考えを発表する。	<p>議題や話し合いの進め方の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 目安の時間を示すことで, 時間を意識して話し合うことができるようにする。 ☞ 重点を置く内容に, より多くの時間をかけられるようにする。
くらしべ合う	解決方法等の話し合い(1) ・交流会の内容や分担, 時間配分等についてよりよい解決方法を見つけるために話し合う。	<p>よりよい解決方法を見つけるための話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 提案理由やめあてに沿って話し合いが進められるように, 指導助言を行う。 ☞ 司会グループの児童だけでなく, 全員に対して助言し, 学級全体の話し合いの力が高まるようにする。 ☞ 実現可能か, 相手の気持ちになって練られているか等の視点でアドバイスをする。 ☞ 相手を傷つけるような発言があったときは, 適切な指導をする。
決める	解決方法の決定 ・互いの考えの違いを認め, 折り合いをつけ, 合意形成を図る。	
事後	決めたことの実践 ・交流会リハーサル(1) ・交流会本番(1) 振り返り(短学活等で)	<p>実践 → 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 互いにアドバイスをし合いながら進め方を工夫するように助言する。 ☞ 当日の短学活等で実践して良かった点, 友だちのよい姿, 感想等を発表する。 ☞ 学習カードや生活の記録等に振り返りを記入し, 学級だより等で紹介する。

次議題へのつながり: 児童会活動 児童会が計画や運営を行う集会, 遠足, 遊び, 給食等の活動において, 学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い, 交流を図る。